

アシレンジャー：野外活動から始めるまちづくり

大脇巧己 (NPO 法人さんびいす)

■ アシレンジャーとは

平成17年より5年間、芦屋市内を流れる芦屋川や宮川で小学生を対象に行ってきた環境学習『芦屋川探検隊』の活動範囲を、河川だけでなく、森（六甲山や地域の公園など）・川（芦屋川、宮川）・海（河口や大阪湾）と市内にある全ての自然に広げた新たな活動である。

『アシレンジャー』の活動では、これまでの夏休み中心のイベント的な単発の野外活動ではなく年間を通した子ども達にとっても学習効果の高い活動を目指し、下記の5つの柱を設け、保護者からも支持され、子ども達を継続的に参加させたいと思える活動へと発展させる事を目指した。

アシレンジャーの5つの柱

アシレンジャーは、地域の活動団体と協力してこれらの活動を行っていきます。

市民が憩える 里山づくり

六甲山の自然は、一度人の手によって壊され、今、もう一度以前のような豊かな森へと生まれ変わろうとしています。そんな里山づくり（植林や山道整備など）に参加してみませんか。森の動植物の知識を学んだり、自分の木（植樹）も出来ます。

協力：芦屋森の会2001

自分のまちが好きになる 環境学習

身近な自然を「見て 触って」体感し自ら考え・自ら学ぶ楽しさを知る体験型の野外学習です。

学校とは一味違った生きた学びを子ども達に体験させてみませんか。

協力：芦屋川に魚を増やそう会
NPO 法人さんびいす

社会でも求められる 発表体験

博物館の先生の指導を受けながら県や地域の代表として、学校では体験できない貴重な人前での発表の機会が与えられます。人に伝える能力（プレゼンテーション力）は、社会人だけでなく、今や受験科目（面接）でもある必須能力です。

協力：兵庫県立人と自然の博物館

自分と仲間を守る レンジャー体験

いざという時に、自分の身や友達を助ける大切なスキルを身に付けることも、野外活動では大切なことです。救急処置法からロープ・ナイフの使い方などサバイバル術まで学校では習えないスキルを身に付けよう。レンジャー認定試験も行います！

協力：環境レンジャー

クックパッドを超える 野食体験

「匂ってなに?」「地産地消って?」昔の人の知恵や環境との関わりを学びながら、野山に生えている植物や自然に生息する生きものを、自分の手でとり、みんなで調理して、美味しく食べることで、頭じゃなくカラダで正しい答えを探してみよう。

協力：阪神バーベキュー協会

■ これまでの活動との比較

	芦屋川探検隊	アシレンジャー
活動場所	市内の河川（芦屋川・宮川）	市内全域の自然（森・川・海）
参加対象	小学生	小・中学生と保護者
活動回数と参加者数	<ul style="list-style-type: none"> 年間3回程度の観察会と数回の成果発表会が中心 年間延べ120名程度が参加 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月1回以上 現在年間登録者 子ども75名、保護者52名 単発での参加者15名 11月末までに延べ200名以上が参加
参加方法	<ul style="list-style-type: none"> 行事毎に参加の申込みをする 	<ul style="list-style-type: none"> 年間登録（不参加の場合のみ連絡） 年間登録せず、単発参加も可
主催団体	<ul style="list-style-type: none"> 芦屋川に魚を増やそう会 NPO 法人さんぴいす 	<ul style="list-style-type: none"> 芦屋川に魚を増やそう会 芦屋の子どもの未来を考える会 芦屋森の会2001 阪神バーベキュー協会 NPO 法人ひょうごアウトドアプロジェクト NPO 法人さんぴいす
協働先	<ul style="list-style-type: none"> 芦屋市環境課 兵庫県立人と自然の博物館 	<ul style="list-style-type: none"> 芦屋市環境課 兵庫県立人と自然の博物館 NPO 法人あしや NPO センター
活動状況	夏休みを中心とした単発の体験型環境学習であり、一部の参加者はその後、学習成果をまとめ発表を行う活動にも参加するが、多くの参加者にとっては野外イベント的要素の方が大きい。	年間を通じた活動にした事と、活動の場を市内全域に広げたことにより主催団体も、市内のさまざまな活動団体と連携。子どもだけでなく、保護者に対しても年間登録を呼びかけた。

■ 活動風景



芦屋川上流での水生生物の観察会



ロープワーク（みんなでハンモック作り）





モクズガニの夜間観察会



水生生物の封入標本づくり



六甲山中での木の実さがし（ドングリが見つからなくても、楽しい事はいっぱい）



■ アシレンジャーが目指すまちづくりとは

アシレンジャーの前身の活動である芦屋川探検隊でもそうであったが、本活動のもうひとつの目的は、子どもではなく参加する子どもの保護者（特に30～40代の父親）を、地域活動の場に登場させる事にある。

30～40代は社会においても中堅を担う世代であり、日々忙しいこともありなかなか地域活動に参加する率は少なく、その結果、地域活動はいつまで経ってもシニア世代が担い、次のリーダーとなる担い手が不足しているのが現状である。

アシレンジャーは、身近な自然や子どもとの触れ合いを通し、楽しみながら地域の環境や次世代を担う子ども達の為に、我々大人が何をなさなければならないかを、自分ごととして考えられる、そんな参加者を増やし、将来的には単なる参加者に留まらず、実施主体者側として活動に参加してくれる人々をひとりでも増やしていくことを目指している。

■ 情報配信システムの活用

『兵庫の河川活動情報配信システム』を 利用してみませんか？

上記の理念を現実化するひとつの手段として、昨年度、ひょうごボランティア基金より助成を受け、「兵庫の河川活動情報配信システム」を立ち上げた。

このシステムは、一見、単なる連絡用システムにも見られがちであるが、野外活動に興味を持つ保護者の携帯に、ダイレクトに近隣で行われている野外活動の情報を送付出来るシステムであり、主催者間の交流と新たな参加者の確保（広報活動）といった多面的な効果を有したシステムである。ぜひ多くの団体で活用してもらいたい。

※登録は、県下を5つのエリアに分け、エリア毎に利用者に登録をしてもらうので、自分が所属している活動以外の情報も送られてきます。このため、近隣で行っている他の団体の活動情報に触れる機会が増えます。そのうえ、活動時の緊急連絡や参加者募集など、多くの機能を使う事が出来ます。登録は <http://sanps.com/m/yagai/> から（PCからも）出来ます。

兵庫の河川活動
情報配信システム



このシステムは、兵庫県内で行われてる河川を活用した活動の情報提供を目的に作られた携帯電話向け情報配信システムです。

下記の登録時の注意をご

【登録の初期画面】

利用者登録・変更

受信を希望する地域を選択して実行ボタンをクリックして下さい。

神戸・淡路
 阪神南
 阪神北
 東・北播磨、但馬・丹波
 中・西播磨
 兵庫県全域

実行

【登録エリア選択画面】

携帯からは、下記のQRコードをご利用下さい。



■ 継続して活動するための課題と挑戦

1) 人づくり

・アシストレンジャー募集

アシレンジャーの子ども達の活動への定着率UPと、活動の安全面の強化を狙い、高校生と参加者の保護者を中心に、新たなボランティアスタッフグループ（アシストレンジャー）を立ち上げる。

・アシレンジャー認定制度を開始

参加者のモチベーションとスキルの向上を目指し、スキル認定制度を実施。

・コレンジャーのプレ実施

就学前の子どもを対象とした、野外活動をプレ実施することで、子どもの保護者を早期から活動に参加させる新たな道筋を探る。

2) 物づくり

・教育委員会と連携し、トライやるウィークの受け入れを計画

活動の場を確保するためにも、行政との良好な関係を維持し、地域住民にも理解を求める必要がある。そこで、中学2年生が全県的におこなっている活動の受け皿を目指す。

・行政や市民と連携し、六甲山の中にアシレンジャーの秘密基地を作る

活動の思い出と参加者意識を高めるためにも、活動の拠点となるフィールドの確保と維持が必要である。そこで旧あしや村近くに秘密基地を作りたい。

3) 金づくり

・SNS等インターネットを活用した情報発信の強化

これまでは、助成金や補助金といった支援金と参加費を活用して活動を続けてきました。継続的に自立した活動を続けるために、SNSなどを活用し、より多くの市民に対し活動成果を積極的に発信し、寄付の呼びかけをしていきたい。

・3～5年後を目標に、認定NPO化を進める。

将来的には行政に頼らず、市民が自分達のお金（ひとり年3,000円の寄付×100名以上）で、この活動の認定NPO化を目指し、自分達のまちと次世代を担う子ども達の活動を市民の手で守り続けていける仕組みを作りたいと考えている。